

## 1 防災の手引き

### 【消防計画について】

通報連絡担当者	
初期消火担当者	
避難誘導担当者	
日常の自主検査の実施担当者	
定期的自主検査の実施担当者	

### 【火気設備器具について】

- ① 火気設備器具の周辺は、よく整理清掃して可燃物を接して置かないで下さい
- ② 火気設備器具は、常に監視できる状態で使用し、その場を離れる時は、必ず消して下さい
- ③ 火気設備器具にある取扱い上の注意事項を守り、故障又は破損したままで使用しないで下さい
- ④ 地震時には、火気設備器具の使用を中止して下さい
- ⑤ 終業時には、火気設備器具の点検を行い、安全を確認して下さい

### 【喫煙について】

- ① 喫煙は、指定された場所で、吸殻入れを用いて喫煙して下さい
- ② タバコの吸殻は必ず水の入ったバケツなどに捨て、可燃ゴミの中には入れないで下さい
- ③ 終業時には、吸殻の処理（水の入ったバケツに捨てる）を確実に行って下さい

### 【避難施設の維持管理について】

- ① 避難口、廊下、階段、避難道路には避難障害となる設備を設けたり、物品を置かないで下さい

### 【放火防止対策について】

- ① 建物の外周部及び敷地内には、ダンボール等の可燃物を放置しないで下さい
- ② 倉庫、更衣室などを使用しない時は、施錠しておきましょう
- ③ ゴミ類の廃棄可燃物は、定められた時間に、指定場所を持って行きましょう
- ④ 事業所外の不審者に対しては、注意を払って下さい

### 【火災時対応】

- ① 通報連絡
  - ・ 119番通報します（火災か救急かの種別、所在、目標、火災の内容など）
  - ・ 防火責任者に連絡し、指示を受けて下さい
- ② 消火活動
  - ・ 消火器を使って、消火活動を行います
- ③ 避難誘導
  - ・ 避難口（出入り口）を開放し、避難口まで利用者様、従業員を誘導します

### 【地震時の対応】 ※ 2 地震対応マニュアルを参照

- ① まず身の安全を図って下さい
  - ・ 蛍光灯、ガラス製品、窓等の近くから離れて下さい
- ② 火の始末を行って下さい
  - ・ 揺れを感じたら、火気設備器具の近くにいる者は、すぐに火を消して下さい

2 地震対応マニュアル

経過	行動
<p>地震発生</p> <p>※1分程度</p>	<p>★ 身を守る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 室内では、家具や冷蔵庫などから離れて、机やテーブルなどの下にもぐる。</li> <li>・ 屋外では、塀やビルのそばから離れる</li> </ul> <p>★ すばやく火の始末をする</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大声で「火を消せ」と叫ぶ</li> <li>・ ガスの元栓を締める</li> </ul> <p>★ 脱出口の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ドア、窓を開けて出入り口の確保をする</li> </ul> <p>★ 傾斜地では安全な場所へ避難する</p>
<p>揺れが収まったら</p> <p>※2～3分</p>	<p>★ 出火したら消火</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ガスコンロ、ストーブ、タバコの火などを消す</li> </ul> <p>★ 家族の安全を確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 倒れた家具などの下敷きになっていないか確認</li> </ul> <p>★ 靴を履く</p> <p>★ 外に出る時は慌てずに</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ プロック塀、自動販売機、川などには近づかない</li> </ul>
<p>みんなの無事を確認。火災の発生を防ぐ</p> <p>※3～4分</p>	<p>★ 行方不明者がいないか確認</p> <p>★ 漏電・ガス漏れに注意</p> <p>★ 火災が発生した時は大声で知らせる</p> <p>★ 電話は、消防車や救急車を呼ぶ時など、緊急連絡を優先する</p>
<p>ラジオなどで正確な情報をつかむ</p> <p>※4～5分</p>	<p>★ 非難する時は徒歩、持ち物は最小限に抑える (自動車での避難は行わない事)</p> <p>★ 避難する時、外出中の家族がいたらメモを残す事</p> <p>★ 正しい情報を聞く</p> <p>★ 近隣で助け合いをする：高齢者、障害者、子供の安全確保</p>
<p>10分以上⇒5日間</p>	<p>★ 水、食料は蓄えているもので賄う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 約3～5日間の食料と生活必需品の備蓄をしておく</li> </ul> <p>★ 災害情報・被害情報の収集</p> <p>★ 余震に注意をする</p>

### 3 風水害対策マニュアル

#### 風水害対策は気象情報の収集

	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ ラジオ・テレビ・電話などで気象情報を正確につかむ</li> <li>★ 台風などによる被害が予想される時や災害が発生した時は、市や消防署などが避難や災害の状況などに関する広報を行います。</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>屋外の点検</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 窓や雨戸・アンテナ・窓ガラスなどを必要に応じて補強する</li> <li>★ ベランダの植木や小物など飛ばされやすいものを取り込む</li> <li>★ 床上浸水の恐れがある場合は、家財道具などを移動する</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>屋内の点検</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 停電に備えて懐中電灯や携帯ラジオを準備する</li> <li>★ 気象情報を注意深く聞く</li> <li>★ 断水に備えて飲料水を確保する</li> <li>★ 高齢者、障害者、子供を安全な場所へ移動させる</li> </ul>
<p style="text-align: center;"><b>避難</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★ 火の始末、戸締りを確実に行う</li> <li>★ 家族全員で避難する（外出中の家族がいれば必ずメモに残す）</li> </ul>

#### 避難の目安

##### 河川やその周辺

- ・ 川の水かさが急に増したり、流れが速くなっている
- ・ 川が「ゴーゴー」と音を立てて流れたり、川の中から「ゴロゴロ」と音がしている
- ・ 道路の側溝などから大量の水が溢れている
- ・ がけ地沿いの川の流れがひどく濁ったり、流れの中に流木や大きな石が混じっている
- ・ 水位観測所の水位が警戒水位を超えそうになっている

##### がけとその周辺

- ・ 斜面から土砂が落ち始めたり、落石が発生している
- ・ 斜面から水が吹き出したり、流れ出していた水が急に止まった時
- ・ 斜面に亀裂ができてきたり、地鳴りが聞こえた時

#### 1 時間の雨量と雨の降り方（目安）

時間の雨量	雨の降り方（目安）
8～15 ミリ	雨の降る音が聞こえる
15～20 ミリ	地面一面水溜り。雨音で話声が聞き取りにくい
20～30 ミリ	どしや降り。側溝がたちまちあふれる
30～50 ミリ	バケツをひっくり返したような雨
50 ミリ以上	滝のように降る

風と被害 (目安)

時間の雨量	雨の降り方 (目安)
10m/毎秒	傘がさせない
15m/毎秒	看板やトタン板が飛び始める
20m/毎秒	小枝が折れる
25m/毎秒	瓦などが飛び、テレビアンテナが倒れる
30m/毎秒	雨戸がはずれ、家が倒れることもある